

たかさご新聞



新春のご挨拶

高砂大学校同窓会 会長

泉屋 和雄

新年のご挨拶を申し上げます。新しい年を迎えて会員の皆様にはすこやかに過ごしての事と思います。

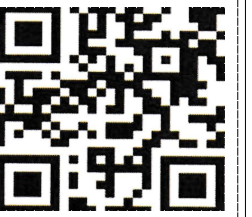
旧年中は会員の皆様の多大なご協力・ご支援のおかげで多くの事業を実施することが出来たことに感謝申し上げます。

今年も又、雪の舞う季節がやってまいりました。自然は何も変わることなく季節が移ろい四季が巡っています。雪景色の中に赤い椿が凛として可憐な姿を見るにつけ、こうした美しい自然に出会うとあらためて健康であることの有難さを、恙なく新しい年を迎えられたことに感謝するばかりです。

さて、あの1月の能登半島の大地震と豪雨災害以来、1年が経過しました。徐々に復興しているとはいえまだまだ道半ば、その爪痕は未だ変わらなず大きな壁として立ちほだかっています。しかし、一方でこの災害に遭いながら必死に立ち上がりうとしていた能登の人達に却って我々の方が勇氣や元氣をもらっているのが偽らないと思います。

高砂大学校同窓会として今年も引き続き活動の一環として「がんばろう！能登」を取り組みのモットーとし

発行  
高砂大学校同窓会  
会長 泉屋和雄  
〒920-0901  
金沢市彦三町1-15-5  
金沢中央公民館2F  
TEL (076) 261-8101  
FAX (076) 261-8149  
(HP) http://www.takasagoob.net



QRコードで  
ホームページ

その武田信玄が「人は城、人は石垣、人は堀・・・」などとした言葉は多くありますが、その中に『一生懸命だと知恵が出る、中途半端だと愚痴が出る、いい加減だと言いつつ出る』とあります。心して臨みたいと思うこの頃です。

能登半島復興支援バスツアーのご案内  
1月の能登半島地震及び9月の豪雨災害は大きな被害となりました。何よりも現場を見ること、そしてその時の話を聞く事でその体験を感し、今後の支援活動の一助にできたらと思います。

赤い羽根共同募金活動と  
福祉バザーの益金寄付で感謝状受領

高砂ボランティア会 会長 106期2組 安田 誠治  
高砂大学校同窓会及び高砂ボランティア会は、令和6年12月9日彦三館において、令和6年度赤い羽根共同募金活動に対する石川県共同募金会長感謝状を金沢市共同募金委員会國枝徳雄会長から伝達されました。

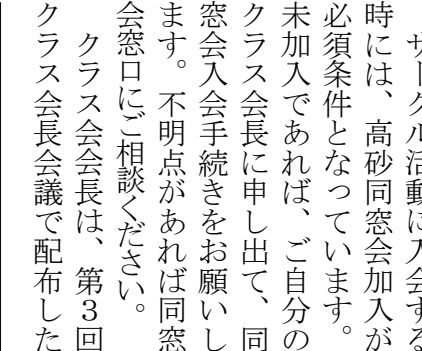
市社会福祉協議会へ寄付し、感謝状を受領しました。同窓会会員の皆さんには、赤い羽根共同募金活動や福祉バザーなどにご協力いただきありがとうございます。

(3) 6月より「ランチャイム・オンステージ」と題して月に1〜2回、彦三館一階ロビーでのグループの発表会を実施してきました。毎回60名前後の観客を迎え、定着した活動を楽しんで頂いています。

昨年、秋のバス旅行は上杉謙信で知られる上越市を訪ねましたが、そのライバルがあつた武田信玄でした。彼は戦国を代表する英雄たちが最も恐れられた武将です。風林火山を旗印に掲げ、信頼で築き上げた強固な騎馬軍団を武器に無類の戦上手として名を轟かせました。



國枝会長とボランティア会副会長



國枝会長と同窓会会長

能登半島復興支援バスツアーの概要  
日時: 令和7年3月11日(火) 午前7:30出発(17:45帰着)  
研修コース: 金沢駅団バス乗降場⇒西山PA⇒道の駅輪島⇒輪島朝市通り⇒輪島ワイプラザ(朝市出張所)⇒門前総持寺⇒能登ワイン工場⇒高松PA⇒金沢駅  
参加費: 4,000円  
申込方法: 1/20(月) 午前10時〜2/21(金) 同窓会窓口で受付



石川県HPより  
地震後の火災被害(輪島市)

令和7年度会員登録発行のご案内

令和7年度の高砂同窓会会員登録ができました。各期・組のクラス会長から配布されます。刷り色がオレンジ色になっています。裏面にクラスや氏名の記入欄が有りますので、必ず記入をお願いします。

サークル活動に入会する際には、高砂同窓会加入が必須条件となっています。未加入であれば、ご自分のクラス会長に申し出て、同窓会入会手続きをお願いいたします。不明点があれば同窓会窓口にご相談ください。

第3回クラス会長会議を開催  
第3回クラス会長会議が12月5日(木) 13時半より彦三館大研修室で開催され、全73クラス中64クラスのクラス会長(代理出席を含む)が出席しました。



第3回クラス会長会議の様子

第2回グループ代表者懇談会を開催

第2回グループ代表者懇談会を12月10日(火) 13時半より彦三館大研修室で開催し、全57グループ中49グループの代表者(代理出席を含む)が出席しました。

同窓会の活動報告とアンケート結果の報告を行いました。グループ活動の取り組み等について熱心な意見交換が行われました。



第2回グループ代表者懇談会の様子

第1弾・第2弾のスマホ講座が終了し、  
大好評により第3弾を開催

スマホ講座第1弾を9月30日(月)〜12月20日(金)の期間に14回開催し、スマホ講座第2弾を11月15日(金)〜12月11日(水)の期間に10回開催しました。毎回満席となり、大好評のうちに終了しました。

第3段スマホ講座開催日程

回	日程	講座内容
第1回	1/10(金)	①初級講座
第2回	1/17(金)	②中級講座
第3回	1/20(月)	③上級講座
第4回	1/21(火)	①初級講座
第5回	1/22(水)	②中級講座
第6回	1/24(金)	③上級講座
第7回	1/27(月)	①初級講座
第8回	1/28(火)	②中級講座
第9回	1/29(水)	③上級講座
第10回	1/30(木)	①初級講座

受講対象者は今まで1度も受講されていない会員です。ひとり3回まで受講可能です。  
開催時間[13:30~15:30]、定員[12名]  
会場[第2会議室(但し第1回は第3研修室)]  
講座内容[①初級講座(基本操作、電話など) ②中級講座(インターネット、地図、その他) ③上級講座(LINE、その他)]  
※不明点は、同窓会窓口にご相談ください。



受講後に講師と集合写真

に課題を持って受講したが、マンツーマンで対応して頂き、たいへん良かった。学ぶことが多く、さらに便利な機能をいろいろ学びたい。自分自身も含めて、家族や回りの人の利益につながります。ラインで孫と話せるようになり嬉しくなりました。



同窓会会員のみなさまへ 新年の「挨拶

同窓会事務局長

11期1組 高澤忠雄  
新年明けましておめでと  
うございます。会員の皆様  
には健やかな新春をお迎え  
になられましたことを心よ  
りお慶び申し上げます。

私達同窓会スタッフは、  
泉屋会長のもと総勢20名で  
スタートしました。前年度  
から新しい組織作りの準備  
を進めて参りました。とこ  
ろが年明けの一月元旦に発  
生した能登半島地震。その  
衝撃と驚き、そして徐々に  
明らかになってくる被害の  
甚大さにただただ言葉を失  
うばかりでした。その時か  
ら私達は「がんばろう！能

登」を合い言葉に復興支援  
に取り組んでまいりました。

前年度からの継続経験者  
は5名。その他は未経験者  
です。行事やイベント、そ  
の他の活動を進める時は、  
ほとんどが手探りの状態か  
らのスタートでした。時に  
は喧々ガクガクと意見を闘  
わせながらもお互い協力し  
合い行事等を成功させて来  
ました。特に「生きがい演  
芸発表会」等の3大行事は  
総力を結集したものでした。

このことはまことに皆さん  
の努力の賜だと事務局長と  
して頭が下がる思いです。  
会員の皆様、特にクラス会  
長、グループ代表、運営委

員の皆様のご支援とご協力  
があつてのことだと感謝申  
し上げます。

私達スタッフ一同はひと  
まわり大きくなって来年度  
に邁進します。どうか会員  
の皆様には変わらぬご支援  
ご協力賜りますようお願い  
申し上げます。新年のご  
挨拶とさせていただきます。



已年(令和7年)に意気込むスタッフ

高砂寿雪書道会の活動紹介

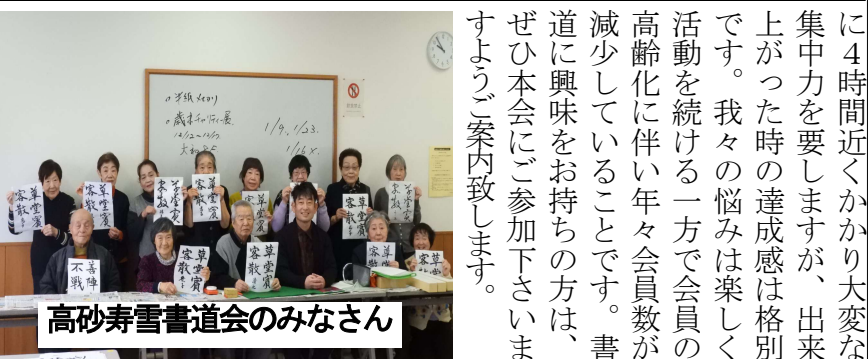
高砂寿雪書道会 顧問

98期1組 後藤 博  
高砂寿雪書道会の活動に  
ついて近況を交えてご紹介  
致します。

本会講師はお母さまの阿  
部寿雪先生とご子息の阿部  
豊寿先生の2名で、毎月第  
2と第3木曜日と土曜日の

午前と午後に分けて開講していま  
す。豊寿先生はお寺や神社  
に揮毫されたり、書道を通  
じ能登地震復興に向け現地  
の方を激励されるなど精力  
的に活動されています。

力に感銘を受けています。  
今春には、バスツアーを  
兼ね富山県内の国宝の寺院  
で開催された先生の揮毫の  
会に参加したり、能登地震  
によりお休み中の会員に皆  
で寄せ書きを書いて励まし  
など皆和気あいあい楽しく  
過ごしています。



高砂寿雪書道会のみなさん

丸岡城・永平寺・平泉寺訪問旅行記

OB歴史会 副会長

109期2組 藤島 寛仁  
11月15日(木) 朝に金沢  
駅を出発し、最初に現存十  
二天守の一つである「丸岡  
城」を訪ねた。丸岡城は、  
柴田勝豊が築いたものであ  
るが、福井大地震で倒壊す  
るなどの幾たびかの災難に  
見舞われながら現在に至る。

次に、鎌倉時代初期の禅  
僧である道元(宗門では高  
祖承陽大師と呼ばれている)  
が開山した「大本山永平寺」  
を訪ねる。境内の落葉樹は  
紅葉が進んでおり、目をな  
ごませた。



永平寺の唐門(勅使門)前で撮影

高砂らくらくピアノクラブの活動

高砂らくらくピアノクラブ会長

114期2組 高寺 恒雄  
高砂らくらくピアノクラ  
ブは現在、第1教室と第2  
教室に分かれて火曜日の午  
前と午後に活動しています。

講師は、全日本らくらくピ  
アノ協会認定の笠間祐子先  
生です。初心者や楽譜に自  
信がない方でも、楽しく演  
奏を始められるように書か  
れた「らくらくピアノ教本」  
を使用しています。このク  
ラブでは、一人ひとりが自  
分のペースで、自分の好き  
な曲を楽しみながら演奏で  
きるようになることを目指  
しています。

このクラブに入ろうと思っ  
たきっかけは、彦三公民館



生け花教室

俳句・短歌  
さんご句会

道すがら鳶の笛きく初詣 八重子  
凡凡と歩み来し道八十路の者 明子  
風止り春ぐ参道破魔矢かな 紀子  
初弾の琴の音ひびく座敷かな 依子  
寒雷や文庫本伏せ背伸びをし 紀代

石路句会

物価高冬枯れの如世相なる 義景  
冬枯れや盛りを偲ぶ広野原 和子  
復興をさらに足止め冬の雨 濤華  
冬の雨とはなしがしくなり 眞奈美  
表札の無い家多し冬の雨 ミイ

雪椿句会

雪吊りの技にうつ鳥旅の人 高三  
突風や銀杏落ち葉の吹き上がる 房義  
サークルの手取川ウオーク冬ぬくし 順治  
天穹へ投網打ちたや鰯雲 悦子  
バス待ちのベンチの二人日向ほこ 陽子

OB短歌会

よしくぞ明日が来るやら知らないが今日を生きるさこれいいのだ 明美  
水面には染井吉野の花筏熊谷桜はいま咲き誇る 重子  
道の辺の芒の穂波招くよにゆれてこの道去年来た道 千佳子  
JAZZのビート、真夏日の汗、カキ氷の真っ赤を頂き 秋涼の街ゆく 美代子  
君に逢ひ異空間に居るしみじみと去り難き想ひにひたりてをりぬ 信天

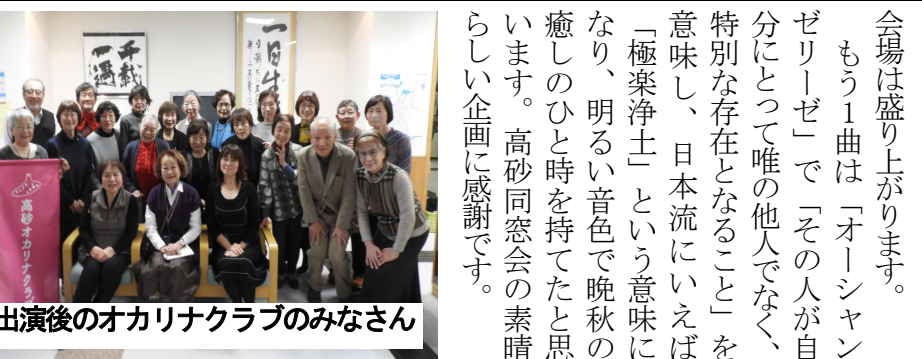
でピアノ初心者向けの会員  
募集のポスターを見たこと  
でした。このクラブなら全  
くの初心者でもピアノを触っ  
て弾いてみるきっかけにな  
るのでは思ったのでした。



演芸発表会に出演中のみなさん

ける曲を中心に合奏します。  
高砂演芸発表会にも毎回  
演じています。  
子供の頃にピアノを習っ  
ていた方、家に眠っている  
ピアノを活用したい方、歌  
が好きな方など、入会のきつ  
かけはさまざまです。入会  
後はそれぞれのペースでキ  
ーボードを購入して、ま  
後はそれぞれのペースでキ  
ーボード(または自宅のピ  
アノ)を楽しんでいます。私  
も、自分の  
好きな曲を  
レベルに応  
た楽譜で弾  
けるように  
なり、ピ  
アノをもつ  
と  
楽しめるよ  
うになりた  
いと願っ  
ています。

高砂オカリナクラブ 会長  
102期3組 木下 幸子  
令和6年11月26日(火)、  
「ランチタイム・オンステ  
ージ」の機会を頂き、玄関ロ  
ビーで「オカリナ癒しのホッ  
トタイム」を開催しました。  
これまで全員揃って演奏し  
ていましたが、小グループ  
に分かれて演奏しました。



出演後のオカリナクラブのみなさん

また、2011年の東日  
本大地震の応援ソング「花  
は咲く」は、頭を揺すって  
共に饗宴する姿も見受けら  
れ、能登地方への応援歌と  
なったと思います。  
指導講師の有松理恵先生  
は、終戦後に大きな力をも  
たらしたと言われる「東京  
ブギウギ」を演奏して下さい  
ました。作詞は有名な鈴  
木大拙の養子という紹介に  
驚いた方もいて、手を叩き



OB系4サークルによる勧誘合戦

ランチタイム・オンステージに出演し  
手拍子で大盛り上がり

高砂オカリナクラブ 会長

は囲炉裏で母親と栗の実を  
煮ながら、外地へ戦争に行っ  
ている父親を偲ぶ歌に、昔  
を思い出し涙ぐむ方も見え  
ました。「故郷」は演奏に  
合わせて会場の皆さんに歌っ  
て頂きました。

OB系4サークルによる入会説明会と勧誘合戦  
大学院終了後も学びを継  
続するために、OB歴史会、  
OB生きがい会、OB花樹  
会、悠々健康クラブのOB  
系4サークルが11月26日  
(火)より、活動内容をア  
ピールするスピーチを大学  
院受講日に合わせて計4回  
行いました。

12月10日(火)より大学

OB系4サークルによる入会説明会と勧誘合戦  
大学院終了後も学びを継  
続するために、OB歴史会、  
OB生きがい会、OB花樹  
会、悠々健康クラブのOB  
系4サークルが11月26日  
(火)より、活動内容をア  
ピールするスピーチを大学  
院受講日に合わせて計4回  
行いました。

12月10日(火)より大学